東海	岐阜県、愛知県、三重県	23	22	21～22
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	15	15	14～15
中国 四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	42	40	38～40
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	60	58	55～58
全国計		732	729	732

※令和７年度の都府県の地域別の生産量は都府県全体の業界見通しを基に推計
※令和12年度の生産量は現状の地域別生産シェアの動向を踏まえて推計

（２）長期的な姿（参考）：780万トン

４　牛肉の生産数量の目標

令和12年度の牛肉の生産数量の目標については、国内人口が減少傾向にあるため、国内での国産牛肉の消費拡大の定着と、輸出認定施設の増加や輸出環境の整備を進めること等を前提に、国内外の需要に応じた牛肉生産として、現状（令和５年度 35 万トン（部分肉換算））の生産量並みの水準を設定する。

その上で、長期的な姿については、さらに輸出拡大が進むこと等を前提に、現状の生産量をやや上回る水準を設定する。

牛肉生産量（全国計）　令和12年度：36万トン（部分肉換算）
51万トン（枝肉換算）

長期的な姿（参考）：37万トン（部分肉換算）
53万トン（枝肉換算）

５　乳牛及び肉用牛の地域別の飼養頭数の目標

令和12年度の乳牛の地域別の飼養頭数の目標については、酪農経営の地域的動向、国産飼料基盤の地域差、乳牛の生産性の向上、需要拡大の定着度合い等を考慮して設定する。

令和12年度の肉用牛の地域別の飼養頭数の目標については、肉用牛経営の地域的動向、国産飼料基盤の地域差、肉用牛の生産性の向上、乳牛の飼養頭数の目標等を考慮して設定する。

（単位：万頭）

地域名	地域に属する都道府県名	乳牛		肉用牛	
		現状（R5年度）	目標（R12年度）	現状（R5年度）	目標（R12年度）
北海道	北海道	83.2	74.9～78.0	56.2	52.4～57.9
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	9.3	7.4～7.9	33.7	33.2～36.7
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県	17.8	14.3～15.1	30.7	30.6～33.9
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県	1.1	0.9～1.0	2.1	2.0～2.3
東海	岐阜県、愛知県、三重県	3.1	2.5～2.7	10.8	10.3～11.4
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	2.3	1.9～2.0	9.3	8.8～9.7
中国 四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	6.2	5.0～5.3	19.3	18.5～20.4
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	10.4	8.3～8.8	105.8	105.5～116.7
全国計		133.5	117.3	267.9	275.3

※乳牛頭数は生産量を左右するものではあるものの、実際の生産量は１頭当たり乳量にも大きく左右され、その１頭当たり乳量は、気候、飼料の質、飼養管理の影響を大きく受ける。このため、継続して需給や種付率などのデータを基に適切な頭数を検証し続けることが必要。

６　飼料作物の生産数量の目標（令和12年度）

飼料作物の作付面積　101万ha
飼料作物の生産量　409万TDNトン
飼料自給率※　28％

※飼料自給率は、豚、鶏なども含む畜産全体の数値である。